

伏黒出張所タイムズ



Vol.23
(H25.12.25発行)

オイルフェンス 設置訓練を 実施しました

本格的な寒さの訪れとともに家庭では暖房等による灯油の使用が増え、それに伴い油の流失事故のリスクが高まる時期でもあります。迅速な対応により油流出事故の被害の拡大防止を図ることを目的に、「阿武隈川水系水質汚濁対策協議会 上流支局」では10月30日に国・県・流域市町・消防等の関係機関と協働で「水質事故対策講習会及び水質異常時対応講習会」を開催しました。



▲油流出事故を想定して松川にオイルフェンスを設置しました

▶佐藤事務係長も訓練に参加して、オイルフェンスの接続作業を確認



▲対策講習会は福島市本内の松川橋下流右岸の河川敷で行われました



▲「側溝の油流出防止策実技講習」で説明を行う伏黒出張所の郷家所長



▲福島市消防本部の隊員より、ロープの結び方の指導もいただきました



▲「バックテスト講習」では、簡易の水質分析方法で水質の目安を検査



油流出事故にご注意！

～ホームタンクからの流出事故を防ぐための心掛け～

- ✓ ホームタンクから灯油を小分けにする時は、その場を離れない。
- ✓ 屋根からの落雪によるタンクの破損・転倒に注意しましょう。
- ✓ 除雪による配管の破損を防ぎましょう。
- ✓ 日頃からの定期点検を忘れずに！

冬場は一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから、灯油などの油類が漏れ出す油流出事故が起こっています。その多くが、管理不足やうっかりミスが原因となっています。ご家庭では日頃から適正なホームタンクの管理を行っていただき、事故を防ぐための心掛けをお願いします。



油流出事故の処理対策のために設置したオイルフェンスや油吸着マットなどの経費は、原因者の負担となります。

船上巡視を実施しました

9月20日に阿武隈川・荒川合流点～梁川大橋付近までの区間をゴムボートで下り、船上から巡視を行いました。陸上からの巡視では見えにくい河道や水際付近を重点的に点検しました。点検の結果、大きな異常は見られませんでした。



県庁裏付近を巡視中

台風18号が去って3日後、まだ水位が高い状況の中、巡視員は異常の発見に目を光らせてました。

阿武隈川に白鳥が飛来しました

今年も阿武隈川の「あぶくま親水公園」(岡部)や「伊達ふれあい水辺の小楽校」、荒川合流点などにシベリアから白鳥がやって来ました。主に見られる白鳥はオオハクチョウやコハクチョウですが、時には珍しいアメリカコハクチョウなどにも遭遇できる場合があります。川辺で羽を休める白鳥から、福島の冬を感じてみませんか。



アメリカコハクチョウ(幼鳥)

黒いくちほしが特撮

平成25年12月12日／阿武隈川・舟場町付近で撮影

～事故防止対策委員会 安全パトロールを実施～



10月29日に「福島河川国道事務所事故防止対策委員会」による安全パトロールを実施しました。工事施工現場を発注者・受注者合同でパトロールし、安全管理体制や作業における安全対策等を点検。伏黒出張所管内では、荒川で施工中の「荒川第14帯工他工事」の工事現場のパトロールが行われました。パトロール終了後の検討会では、問題点や要是正箇所について活発な意見交換が行われました。また、労働安全コンサルタントの湯田氏を招き、貴重な講話をいただきました。



(写真上)参加者は意見を交わしながら、施工中の現場をパトロール。(写真左)パトロール終了後、それぞれ3班に分かれて検討会を行いました。(写真右)参加者の皆さんは湯田氏の講話を真剣な眼差しで聞き入っていました。



あらかわNEWS

第16回あづま荒川 クロスカントリー大会ダイジェスト!



水質日本一にも輝く荒川沿いを走る「第16回 あづま荒川クロスカントリー大会」が12月8日に開催されました。開始時は小雪がちらつきましたが、ランナーの皆さんたちは寒さともせず荒川の豊かな自然を感じながら力走しました。



- ①今年には15部門に男女合わせて1,747名がエントリー、1,497名が完走しました。
- ②大会に出場した伏黒出張所の郷家所長、福島河川国道事務所の安部事務所長、工務第一課・山本技官、河川管理課・内田専門官(写真左から)。
- ③④「とうほう みんなのスタジアム」をスタート・ゴールに、荒川周辺に特設のクロスカントリーコースを整備。
- ⑤荒川を横断するダイナミックなコースも本大会の醍醐味。

- ⑥福島河川国道事務所のパネル展も設置。
- ⑦地元の美味しいグルメが揃う物産展も好評でした。
- ⑧起伏や変化に富んだコースで日頃の鍛錬の成果を発揮するランナーの皆さん。

ふくしま荒川ミュージアム推進会議

荒川流域には歴史的な治水・砂防施設、地域の風習や文化、豊かな自然など多彩な資源が点在。荒川沿川をフィールドとしてそれらの資源の保存・活用を目的に、平成20年に市民団体や地元企業、商工団体、行政が連携して設立されたのが「ふくしま荒川ミュージアム推進会議」です。12月11日の「2013」第1回ワークショップでは、講演や観光資源としての荒川及びスタンプラリー対象施設を調査するフィールドワークが行われました。



▲「街づくりからみた川づくり」をテーマに講演を行う㈱プランニングネットワークの代表取締役・伊藤 登氏。▶荒川流域には大正14年に完成した地蔵原堰堤をはじめ、15基の砂防堰堤が登録有形文化財に指定されています。



地蔵原堰堤に渡河施設を整備



地蔵原堰堤の下流部に、荒川を横断する施設ができました。表面は自然石を使用し、地蔵原堰堤との景観をコンセプトに整備されました。

《お問い合わせ》

国土交通省 福島河川国道事務所
伏黒出張所
〒960-0502 伊達市箱崎字中32-1
TEL025(583)3233 FAX024(551)2337
<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>



★川や堤防の異常・変状などを発見されましたら、お手数ですがご連絡をお願いします。